# 令和6年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

<u>令和 7年 2月 5日</u> 学校関係者評価委員会

氏	名	
氏	名	
氏	名	
Æ	名	

### 1 総評

## (1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・ 重点努力事項に対し、自己評価が高いことは強い倫理観の表れと評価します。反面、保護者アンケートにおいて前年度と比較して、5ポイント以上ダウンしたのが 13項目あり、その内 10%以上ダウンしたのが 5項目あったのはどうしてなのか、原因を究明する必要があります。
- 各重点目標は、それぞれの努力により、ほぼ達成できたと思われます。

#### (2) 成果について

- 各種行事が好評に全て行われたことは、教職員の努力の賜物と評価します。
- ・ 保護者アンケートの回収率が49.7%と前年度と比較して大幅に改善されたのは、評価に値します。
- ・ 「学び合い」を始めとして、「いじめ」「子供の権利」「体力づくり」「防災教育・防災 対策」「教育支援・教育相談」「体験活動」各々十分に達成でき、大変すばらしい結果 でした。

#### (3)課題や改善を要する事項について

- 教職員と保護者との認識のずれの是正に真剣に取り組む必要がある。
- ・ 保護者アンケートにおいて、「分からない」が平均で 15.1%もあり、憂慮すべき事態で す。解消に向け抜本的な見直しが必要。
- 来年度は、今年度以上の努力をされ、更なるレベルアップを期待します。

# 2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul> <li>安全管理として、各児童が登下校の際に、横断歩道での礼機正しい態度はすばらしい。</li> <li>学習発表会は、低学年から高学年までチームワークよく、一体となり大変すばらしかったです。</li> <li>行事等は、先生方のアイディアを取り入れて、各自が工夫されているようです。</li> <li>通学路ではない所を歩いている子供たちがいたり、犬の散歩</li> </ul>
	2 魅力ある学校	В	
	3 施設・設備	В	
	4 安全管理	Α	
	5 教職員の資質の向上	Α	について他の家の敷地に入ろうとする子供がいます。 ・ ブログの発信やお便り、SNS で見やすいように作成されてい
	6 特色ある教育活動等	В	ます。 今回「分からない」の回答が多く見られ、発信を努力している学校と保護者との温度差を感じる。紙での配布が無くなり、様子が届きにくくなっているのだろうか。学校に来る機会が少なくなっているからなのか気になるところです。 地域ボランティアの連携は、以前よりよくなっているのではないかと思う。感謝の会は、初めての試みでうれしいが、設定時刻が、ボランティアには厳しい。
	1 確かな学力	В	・ 学校教育の指導は責任ある立場で、色々と工夫され、前へ 進まれていること、感謝しています。
教育課程	2 豊かな心身	В	<ul> <li>学年により違いがあるようです。授業中に席を立つ子供たちもあるようです。</li> <li>挨拶はよくできていて、町内の方々も感心しています。</li> <li>先生方の授業に対する工夫など、努力されていることを感じる。しかし、保護者からはもう少し基礎基本的な学習内容の定着を望む声がある。</li> <li>道徳、挨拶など、学校だけではなく、家庭での対応も必要。特に高学年への声掛けなど、やってはいけないことをしっかり学校と家庭で教えていく必要がある。</li> <li>不安を抱えたお子さんに対する対応をスクールカウンセラーなどと連携がとれていることに安心する。</li> </ul>
	3 特別活動	В	
	4 生徒指導·教育相談	В	
	5 特色ある教育活動等	A	
	1 環境教育	Α	・ 各教育を色々工夫され、児童生徒の指導の充実さは大変よ
課	2 情報教育	Α	<ul> <li>く努力されていること、ありがとうございます。</li> <li>子供たちの中には、落ち着きのない子がいて、他の子供たちの迷惑になっているようです。個々の保護者との連携が必要だと思います。</li> <li>情報モラルについての指導は、中・高学児童にしっかり指導をお願いしたい。</li> <li>学校では、読書習慣の定着への働き掛けをしていると感じている。</li> <li>食についての指導を今後もお願いしたい。</li> <li>中学生や高校生の交流があるので、してみてはどうか。</li> </ul>
題	3 特別支援教育	В	
教育	4 図書館教育	Α	
	5 健康教育	Α	
Ħ	6 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		В	<ul> <li>町内会の参加をさらに希望いたします。</li> <li>地域ボランティアの方々の高齢化により、人員不足の懸念があります。保護者に同居している祖父母に参加の呼び掛けをお願いしてはどうか。</li> <li>地域ボランティアの参加も多く、子供たちとも交流できて、連携がとれていた。</li> </ul>
いじめ問題への取り組み		В	<ul> <li>いじめのない学級づくりをお願いします。</li> <li>教職員と保護者の認識のずれが著しい。</li> <li>保護者が相談しやすい状況になっているのか。保護者が学校に電話してもガイダンス案内になっていることもある。</li> </ul>